

霧島

広報きりしま

使ってトクク
クーポン
オリジナル
Post Card
付

Kirishima City Public Relations, Japan
2013.5.8発行 VOL.164

霧島
広報きりしま



発行 / 〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世 / 0995-45-5111(代)
ホームページ / URL http://www.city.kirishima.jp ■メールアドレス / E-mail info@city.kirishima.jp
編集 / 秘書広報課 TEL / 0995-64-0955 FAX / 0995-64-0934 ■印刷 / 南国新報社印刷



泉温尾丸(所名泉温島霧)
秋の館旅

大正6年創業当時



大正・昭和・平成にわたる
九十六年の歴史を経て、
今日を迎えることができましたのは、
皆様の温かいご支援とご指導の賜物と、
厚く御礼申し上げます。



高原の薔薇プレゼントサービス(6月~10月)



レストラン「天望」



ピアノによる
ウイークエンドコンサート

霧島温泉 旅行人山荘

りょうじんさんぞう
〒899-6603
鹿児島県霧島市牧園町高千穂字龍石 3865
TEL.0995-78-2831 <http://ryokojin.com>



手づくりスイーツ・コーヒー
のどか
Cafe 農土家
霧島市牧園町高千穂3170-18
Tel.0995-76-2825

花開く初夏の霧島を
ご案内します。
霧島公園タクシー
霧島市牧園町
高千穂3864-54
Tel.0995-78-2454



みやまバラ園
バラの発送、花かごアレンジや花束など
承ります。
霧島市牧園町万膳1475-13
Tel.0995-74-1551

Special Feature
気付いてください

小さなサイン

いじめの認知件数（鹿児島県）

校種	認知件数	解消件数		未解消件数
		解消率		
小学校	21,463	19,023	88.6%	2,440
中学校	5,991	5,322	88.8%	669
高等学校	3,215	2,318	72.1%	897
特別支援学校	88	62	70.5%	26
合計	30,757	26,725	86.9%	4,032

(平成24年4月1日～9月末日まで)

いじめの認知件数（霧島市）

校種	認知件数	解消件数		未解消件数
		解消率		
小学校	2,606	2,081	79.9%	525
中学校	571	515	90.2%	56
合計	3,177	2,596	81.7%	581

(平成24年4月1日～9月末日まで)

主ないじめの内容と件数（霧島市）

小 学 校	いじめの内容（態様）	件 数	
		認知件数	解消件数
	① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	1,611	1,164 (73%)
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	949	724 (76%)
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	910	615 (68%)

中 学 校	いじめの内容（態様）	件 数	
		認知件数	解消件数
	① 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	478	379 (79%)
	② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	146	114 (78%)
	③ 仲間はずれ、集団による無視をされる	125	96 (77%)

(平成24年4月1日～9月末日まで)

いじめは、ささいなことから発展して起きることがあります。そのため簡単にいじめが始まってしまいます。今回のアンケートは、あくまでも昨年の4月から9月までのもので、その後、新たないじめが起きていないかもしれません。いじめ問題解決の妨げになっていないのが「相談のしづらさ」です。今回の調査でも「誰にも相談できない」と7.6%の子どもたちが答えています。

学校教育課でいじめ問題を担当している平國弘明指導主事は「子どもがいじめの悩みを打ち明けることは勇気がいります。だからこそ私たち大人や周りの友達が小さなサインに気づき、手を差し伸べることが大切です。この支援室が悩んでいる子どもや保護者にとって早い段階で相談するきっかけになることを期待しています。これから多くの皆さんと協力して、子どもたちがさらに安心して学校生活を送れる環境を作っていきたいです」と話します。

踏み込んだ調査と対応
市教育委員会では、これまでいじめの状況を把握するためにアンケート調査などを行ってきましたが、昨年9月の調査は、県の方針でもある「いじめを一件でも多く発見し、一件でも多

く解決すること」を目指して、軽微と思われることも把握するため、これまでに以上に踏み込んだ県の統一した調査として実施しました。その結果、4月から9月までのいじめ認知件数は3177人、その時点で未解決だったのが581件でした。教育委員会ではこの結果を重く受け止め、各学校に聞き取り調査を依頼するとともに、学校の取り組みを経過観察するためのチェックリストを全小・中学校に配布し、毎月、点検するなど問題の解消への態勢を整えました。各学校でも県教育委員会作成の「いじめ問題への対応の手引き」を活用し

さらに一歩進めて

この結果、今年3月末には、未解決件数が581件から1件になりました。この1件はネットへの書き込みのため、加害者を特定できず、解決できませんでした。

文部科学省は、平成23年10月に滋賀県大津市の中学2年生がいじめを苦に自殺した問題を受け、昨年9月に全国の小・中・高校などを対象に、4月から9月までのいじめ調査をしました。いじめの件数は全国で約14万4000件にも上り、平成23年度1年間の2倍以上という結果でした。

た校内研修や実態把握、いじめに気付いた際の組織的で速やかな対応への強化を図りました。さらには、必要に応じて教育委員会の指導主事が学校を訪問し、具体的な援助をするなど、学校と教育委員会が一緒になっていじめ解消に取り組みしました。

この結果、今年3月末には、未解決件数が581件から1件になりました。この1件はネットへの書き込みのため、加害者を特定できず、解決できませんでした。



平國弘明指導主事

教育委員会では、これまでにいじめ相談の連絡先が載った「ストップ！いじめ」カードや県内のさまざまないじめ相談機関の連絡先などを記載した文書を全ての小・中学生に配布してきましたが、今回さらに、悩みを相談できる環境を充実させようと、4月1日に県内の市町村では初となるいじめに特化した相談窓口「いじめ問題対策支援室」を設置しました（詳細は9ページ参照）。

気付いてください
小さなサイン

子どもだけでなく大人社会でもある「いじめ」は大きな社会問題です。
無視されたり、暴力を振るわれたり、金品を取られたり。
毎日、毎日、肉体的にも精神的にも追い込まれ、行き場を失った人の中には「死」を選ぶことも一。
特に子どもは、自分一人の力で環境を変えるには幼すぎます。
だからこそ、周りの友達や親、学校、地域などの手助けが必要です。
皆さんの周りに、誰にも言うことができない小さなサインはありませんか。
子どもの「命」を守るために、私たちにもできることがあります。

孤独に押しつぶされそうになったあの時 ぼくは「死」を意識した

20代男性（県内在住）

皆さんは、小学生のころ「死」を考えたことがありますか。私はあります。その原因が「いじめ」です。期間は1年もありませんでしたが、本当につらく、苦しかったです。

発端はささいなことでした。当時、ヒーローごっこがはやっていて、最初のころはみんなと仲良く遊んでいました。途中から悪役をさせられるようになり、みんなからの攻撃や冷やかしがどんどんエスカレートし、休み時間以外にも「こっちに来るな」などと言われるようになりました。

私は「もうしたくない」と言いましたが、代わりに悪役をしたいと思いますという「標的」をさせられ続けました。ある日、我慢の限

界だった私は、攻撃してきた一人をそれまでの全ての思いをぶつけるかのようになんか「もうやめよう」と言いました。でもそれからがスタートでした。

リーダー格の同級生から「あいつと話すな」という命令が出され、次の日から無視されるようになりました。最初のころは、何人か味方をしてくれましたが、自分が標的にされるのが怖くて、どんどん離れていきました。中でも一番つらかったのが、この前まで仲の良かった友達が、女子に「あいつと話すなよ」と言っている瞬間を目撃した時です。まるでガラスが割れるように一気になんか壊れていく気がして、泣きながら帰りました。

それからのことは、ほとんど覚えていません。みんなから無視されながら、自分はどう学校生活を送っていたのか思い出せないんです。つらい過去に無意識にふたをしてしまったのかもしれない。唯一、覚えているのが孤独感。「話し掛けたい、でも無視されるのが怖い」、人目を避けて生活していました。

伝えられない思い

ある日、誰かに聞いたのか、母親が「いじめられてるの」って聞いてきました。本音は全てを話して助けたいと思いましたが、とっさに出た言葉は「いいや、大丈夫だよ」。

いじめを苦に自殺をする人に「なぜその前に、誰かに相談しないんだろ」と思う人もいるかもしれませんが、言えないんです。恥ずかしかつたのか、報復が怖かったのか。なぜ言えなかったのか自分でも分かりませんが、親にも先生にも言えませんでした。自分にできたのは、ひたすら耐える

こと。いつまで続くのか分からない不安ともしどいことをされるのではという恐怖に耐えながら、ただ一日が終わるのを待っていました。

そんな日々が1年近く続き、学年が上がると、何もなかったかのようにリーダー格の人が私に話しかけてきました。それをきっかけに、ほかの人も話せるようになりました。今考えると、周りの変わりように憤りを感じますが、あのときは本当にうれしかった。一気に関界が開けたような感覚でした。

いじめは、それで終わりました。でも自分の心の傷は今も残っています。小学校時代のいい思い出はありません。大人になっても、人の目が気になって心が休まりません。一番嫌なのが人を本気で信用することができないこと。いじめている側からしてみれば、その時だけかもしれない。でもいじめられている人は、その心の傷を一生抱えていかなければいけないんです。いじめはやめてください。

つらかったあの日々

いじめられている人は、何を思い、どんな心境なのでしょう。いじめ問題に直面したとき親は、どのように感じているのでしょうか。いじめ問題を体験した2人の方に生の声を聞きました。思い出したくないつらい過去を赤裸々に話してくれたのは、「いじめをなくしたい」その一心でした。

息子を殺せば楽になる 私はもう少しで殺人者になるころだった

50代女性（県内在住）

子どもが小さいころ離婚し、女手一つで2人の子育ててきました。家庭の事情で関西から鹿児島に来たのときでした。慣れない環境に少しの不安はありましたが、二人ならうまくやっていたと思っています。

転校の翌日、帰ってきた息子が顔にけがをしていました。「どうしたの」って聞くと「ふざけて打っただけ」と話してくれたので安心していましたが、次の日も、またその次の日も、けがをして帰ってきました。その後、けがはなくなりましたが、数日後、学校から連絡があり息子がほかの生徒に暴力を振るったと聞かされました。理由を聞いても言ってくれず、その時は頭を下げることで済ませました。

学校からの呼び出しは、それで終わらせませんでした。徐々に回数が増え、多いときは週3、4回呼ばれることもありました。あるときは、数人の生徒にいじめをしたと言われ、生徒とその保護者に土下座したこともありませ

息子に理由を問い詰めると「オレを信用できないのか」と立ち去ってしまいました。それから不登校が始まり、非行を繰り返すようになり、家庭内暴力が始まりました。少し声をかけただけで罵声を浴びせられ、殴る、蹴るの暴力が待っていました。顔や体はあざだらけ、骨折をしたこともありませ。止めに入った長女も暴力を振るわれました。そんな日々が、中学から二十歳になるころまで続きました。当時、私は自殺をする夢ばかり見て

いました。精神的に疲れていたんだと思います。息子を殺せば楽になると思ったことも何度もありました。そんな私を支えてくれたのが長女の存在です。もし息子を殺せば、娘が結婚するとき殺人者の娘として嫁ぐことになる。娘だけでも幸せになってほしい。さらに支えになったのが友人たちの存在。私を心配して何度も相談に乗ってくれました。娘と友人たちがいなかったら、私は殺人者になっていたかもしれないかもしれません。

残るのはつらさだけ

私には一つ疑問があります。息子は本当にいじめをしたのか。それだったら、顔の傷は何だったのか。どうやって一人で大勢をいじめたのか。「オレを信じられないのか」という息子の言葉の意味は何だったのか。あのとき息子の話をもっと聞いてあげられたら、あのとき息子の小さなサインに気付いていたら。でも、あのころの私にそんな気持ちの余裕はありませんでした。

息子は二十歳になるころから少しずつ変わっていききました。暴力はなくなり、会話をしてくれるようになりました。そんな息子がある日言ってくれたんです。「今までごめん。これからは迷惑をかけた分、お母さんの面倒を見ます。誕生日と母の日にはプレゼントをいつもくれます」。

それでも、あのころのことがトラウマで、当時の話をするのができません。息子も一切話しません。私たち親子にとって、あの約7年間は一生消えることのない触れたくない過去です。いじめられていたのか、いじめていたのか。今は分かりませんが、一つだけ言えることがあります。いじめは加害者も被害者も、そしてその周りにも残るのは「つらさ」だけ。私はそのことを身をもって知りました。今、自分の経験を生かして、ボランティアでいじめの相談を受けています。いじめで悩む人がいなくなることを願っています。



子どもたちを見守る上小川地区の皆さん

国分の上小川小学校は児童数190人、一学校一地区ということもあり、学校が地域のシンボルの役割で、地域との関わりが深い学校です。

同校では、いじめのない学校を目指して、学期が始まった最初の週を「いじめについて考える週間」とし、いじめの体験談などが収録されたビデオを見せるなどして、なぜいじめをしたらいけないのかを教えています。

先生たちも問題を一人で抱え込まないように定期的に会議を開き、情報を共有することで、みんなで問題の解決に取り組みます。

地域と一緒に目指す いじめのない学校

市内の小・中学校では、いじめをなくすためにさまざまな取り組みをしています。

国分の上小川小学校では、学校と家庭だけでなく、地域とも協力して「いじめのない学校」を目指しています。

変化に気付くこと。元気がない子に優しく声をかけたり、どこかけがをしていたらその原因を聞いたり、常に子どもたちの変化に気を配ります。気が付いたことは全て学校に報告し、学校からも情報が来るため、子どものことを学校と地域がしっかりと情報共有しています。

池田まゆみさん(56)も子どもたちを見守る地域の方の一人。児童クラブの運営委員長や子育てサロンなども運営していることから子どもたちとの接点も多く、みんなから「まゆみ先生」と呼ばれています。池田さんは学校と地域の関係に手ごたえを感じています。「私は新一年生が入ってくると、名

本当の気持ち

6月・12月・2月を人権月間と定め、同校ではさまざまな取り組みをしています。中でも2月は「生活つづり方」と題し、悲しいことやつらいことを子どもたちに作文に書いてもらい、それをクラスで発表します。一番印象的だった内容はクラスの代表として全校児童の前でも発表します。

同校の人権教育担当の小濱幸雄教諭は、これらの取り組みがいじめ問題の解決につながるかと期待を寄せます。「子どもたちが自分のつらいと感じ



上小川小学校6年生と小濱教諭

たことを勇気を出して発表することで、それを聞いた子は、自分がしていたことを反省し、後から謝罪する子もいます。時には私たち大人でも気が付かなかった内容もあります。自分はそのつもりはなくても、相手の受け止め方は違うことがあります。それを言える環境、そして受け止める心を持てれば、いじめ問題はなくなると思います」

子どもたちの作文の中には「ひそひそ話をされて嫌だった」「外見のことを言われてつらかった」など、私たち大人もついしてしまいうことも含まれていました。

前と顔を覚えることから始めます。その次は、住んでいる場所やどんな性格か、誰と仲がいいかなどを覚えさせます。そうすることで、子どもたちの小さな変化に気が付くことができるんです。何かあったとき一番必要になるのが「地域力」だと思います。地域の宝である子どもたちが元気に学校に行けるように、これからも学校と一緒に見守っていきます」

さらに池田さんは、親や先生以外の存在にも注目しています。

「私に悩みを相談しにくる子どもがいます。先生や親に話したくても話せない子もいるんです。そんな時、一人

で抱え込むのではなく、誰かに相談できれば、悩みは解決できるかもしれません。子どもたちの笑顔のために、私はそんな存在になりたいんです」

今日も地域の人に見守られ、上小川小学校の子どもたちは、元気に登校しています。



池田まゆみさん

地域の力

子どもたちを支えているのは、学校や家庭だけではなくありません。地域の力も大きな役割となっています。

上小川地区では防犯パトロール隊を結成し、登下校時に保護者と一緒に子どもたちを見守ります。その役目は安心安全を守るだけでなく、あいさつの仕方を教えたり、時には服装の乱れている子どもを叱ったりもします。そしてもう一つの役目が、子どもの



いじめについて話す小濱幸雄教諭

2年前から同校では、大人も子どもも関係なく、名前を呼んでからあいさつするようにしています。小濱教諭は「スキミングが大事だと思い、あいさつの仕方を変えました。相手への意識が強くなり、話すきっかけにもなっています。毎日のあいさつが楽しみですよ」とほほ笑みます。

コミュニケーション不足が叫ばれる昨今ですが、少し工夫するだけでお互いの距離は縮まるようです。

これからは、えくぼを見せて笑います

私は笑うとえくぼができます。そのことを友達に「気持ち悪い」などと言われたことがあります。冗談のつもりでも、私は一瞬で悲しくなりました。もっと嫌だったのが私のいないところで言われていることを知ったときです。直接言われたときよりも何倍も悲しくなりました。顔や体のこ

とは自分ではどうしようもありません。そのことをばかにされると心が痛いです。でも考えてみたら、私も人の顔の特徴を冗談で言ってしまったことがあります。そのとき友達は私と同じ気持ちだったんだと思うと申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのことをみんなの前で発表しました。

上小川小学校4年 白山 愛佳さん

すると、何人かの友達が謝りに来てくれました。私はうれしくて笑顔で「もういいよ」って伝えました。

これからは、自分が言われて嫌なことは人には言いません。自分が嫌だと思ったことは、はっきり相手に伝えます。そして、堂々とえくぼを見せて笑いたいです。



霧島市 県内初 いじめ問題 対策支援室を 設置

学校以外にも相談できる場所が増えました

市では、県内の自治体では初となる、いじめを専門にした対策室「霧島市いじめ問題対策支援室」を4月1日、隼人町内山田にある市青少年育成センター内に設置しました。県警OBの専門相談員が、子どもや保護者のいじめの悩みを聞いたり、学校を巡回したりします。皆さんからの相談は、関係機関と一緒に解決策を探りますので、まずは相談してください。

☎0995(43)4057 月～金(土・日、祝日、年末年始を除く) 8:15～17:00



霧島市いじめ問題
対策支援室相談員
折尾 勤さん

警察では相談業務も担当したことがあります。教育現場にいたことはありませんが、だからこそ気が付くことがあると思います。相談者の心に寄り添い、関係機関と連携しながら、いじめを解決できるように頑張りますので、一人で悩まないで連絡してください。

その他の相談機関

- 霧島市教育委員会学校教育課 ☎0995(42)1116
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
8:15～17:00
※その他の日や時間での相談先 ☎080(5282)5560
- 霧島市青少年育成センター ☎0995(43)4057
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
8:15～17:00
※その他の日や時間での相談先 ☎080(5282)5560
- かごしま教育ホットライン24 ☎0120(783)574
毎日 24時間
- 県総合教育センター教育相談課 ☎099(294)2200
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く、面談は要予約)
8:30～17:00
- PTAすくすくライン ☎099(251)0309
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
9:00～17:00
- 中央児童相談所(鹿児島市) ☎099(264)3003
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く、面談は要予約)
8:30～17:00
- 子ども・家庭110番 ☎099(275)4152
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
9:00～22:00
- 少年サポートセンター ☎099(252)7867
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
8:30～17:15
- かごしま子ども・若者総合相談センター ☎099(257)8230
火～日(年末年始を除く、面談は要予約)
10:00～17:00
- こころの電話 ☎099(228)9566
月～金(土・日、祝日、年末年始を除く)
9:00～16:30
- 職場、学校いじめ個別相談
学校や職場でのいじめ相談です。無料。
NPO法人いじめ対策プロジェクト ☎090(4475)9351

☎=相談日 ☎=受付時間

◎いじめられているあなたへ
「つらいよね、苦しいよね。でも諦めたらだめ。あなたのつらさや苦しみを分かってくれる人が絶対にいるから。一人で抱え込まないで、誰かに相談してほしい。希望を持っていれば絶対に明るい未来が来るから」

◎助けたいと思っているあなたへ
「いじめられている人を助けたいと思っても、「次は自分が」って思うと、勇気が出ないときがあるよね。でも、ほかの誰かに伝える勇気は持ってほしい。あなたのその勇気が、いじめをやめさせることにつながるはず」

◎関係ないと思っているあなたへ
「私は関係ないと思っているかもしれないけど、助けを求めている人にとっては関心を持たれないことは、本当につらいことなんだよ。いじめを知った瞬間から、あなたも関係者であることに気付いてほしい」

◎いじめているあなたへ
「自分がしたことで誰かが不幸になって、それであなたは幸せですか。今は楽しんでいても、もしその人が死を選んだら。あなたは一生その責任を背負わないといけな。本当の意味で自分を大切にしてほしい」

いじめのない、
明るい
未来のために

徳丸洋子さんからあなたへ

「今はつらくても、希望を持っていれば必ず明るい未来が来る」。いじめられている子どもたちに、そう伝えるのは「NPO法人いじめ対策プロジェクト」代表の徳丸洋子さん。自らも、中学時代につらいいじめを受けた経験を持ち、「いじめに悩む子どもたちを救いたい」という思いから心理カウンセラーの資格を取り、平成15年、「いじめ対策プロジェクト」を設立しました。最初は一人で始めた小さな活動でしたが、徳丸さんの思いに共感した人たちが集まり、今ではスタッフの数も約50人に。毎月、電話やメールなどで1

00件以上の相談が寄せられます。

いじめの現状

最近のいじめの現状について、徳丸さんは次のように分析します。

「無視や暴力などに加えてネットいじめも増えていて、中には友達になりすまして悪口を書き込む陰湿なものもあります。そのほとんどが罪の意識はなく、行為がどんどんエスカレートしていくことが多いです。先生や親に相談したくてもできずに、一人で追い込まれて死を考える人もいます」

多様化するいじめ問題は相談内容にも変化が起きています。

「以前は、いじめられている子どもからの相談がほとんどでしたが、最近では、対応に悩む親や先生からの相談も増えています。そのほとんどが、周りに相談できずに一人で抱えている方たちです」

徳丸さんはいじめられている子どもたちに希望を持つことの大切さを一番伝えたいと言います。

「私がいじめられていたとき、何度死のうと思ったか。そんなとき心の支えになったのが海外に行きたいという夢でした。夢は明日への希望となります。それだけでいじめが解決するわけではありませんが、命は救えると思います」

小さなサインを見逃さないためにも地域と連携したりして、地域社会が一つになっていじめ問題に取り組むことが解決につながると思います」

その言葉を証明するように、上小川小学校では、学校と家庭、そして地域が連携して「いじめのない学校」を目指しています。

徳丸さんは「いじめは当事者だけでは解決できない問題となっています。社会全体でいじめについて考える、そんな社会になるように、私にできることをこれからも続けていきます」と、明るい未来を見つめていました。

皆さんは子どもたちの小さなサイン



▲色が明るい色に変わった例

多角的自己表現法

徳丸さんが考案した、自分の気持ちや対人関係を視覚的に分かりやすく色で表わす方法。12色の色鉛筆などを使い図形に色を塗る。暗い色で表現する人は、悩みを抱え、誰にも話せない人が多く、自分からは伝えられなくても図形の色合いを見れば、その人の思いが伝わってくる。

に気付いていますか。一人でも多くの子どもたちを助けるために、私たちもできることがあります。

地域社会の連携

いじめを無くすために徳丸さんが取り組んでいるのが学校や行政、地域などとの連携です。そのために学校やPTAだけでなく、地域や企業などでも講演を開いています。

「今のいじめは、何が発端で起きるかわりません。だから解決策もさまざま。多様化するいじめを解決するためには、学校や家庭だけでは限界があります。専門家と一緒に解決策を探ったり、悩みを抱える子どもの小



徳丸洋子さん(45)

NPO法人いじめ対策プロジェクト代表、認定心理士、日本心理学会会員、日本行動医学会会員、鹿児島県不登校対策委員、鹿児島市自殺対策ネットワーク会議委員。県内外の多くの学校やPTA、地域、企業などでいじめについて講師を務める。



世界申請へ向けて 官民一体

霧島ジオパーク推進連絡協議会定例総会が4月8日、国分シビックセンターで開かれ、世界ジオパークネットワーク加盟に向けた作業を今年度進めていくことが決

まりました。世界申請には日本ジオパークネットワークの推薦が必要ですが課題もあります。霧島ジオパーク推進連絡協議会の顧問で鹿児島大学大学院理工学研究科の井村隆介准教授は、「まだ市民の盛り上がりが必要」と助言。9月には世界申請への推薦の可否が決定されます。



駅駐輪場に 防犯カメラを設置

市では盗難や犯罪の抑止のため、3月末にJR国分駅と隼人駅の駐輪場に防犯カメラを合計で9台設置しました。

両駅では、これまで2重ロックの推奨のほか盗難防止バーの設置などで自転車の盗難抑止を呼び掛けてきましたが、毎年両駅を合わせて100件ほどの盗難があり、昨年81件と多発したため、今回設置しました。自治体が独自に防犯カメラを設置するのは県内では初めてのことで、前田終止市長は「市民それぞれの防犯意識の啓発に加え、ハード面の整備で犯罪抑止に一層努めたい」と話しました。



中岳中腹の 探勝路が開放

新燃岳噴火の影響で入山規制されていた中岳中腹の探勝路が4月27日から開放されました。

県や市の関係者などで開放に向けて降灰の除去や登山道の補修、看板などを設置しました。探勝路はミヤマキリシマが多く群生する場所で、降灰の影響が心配されましたが、4月17日の調査ではつぼみが確認され、これから5月中旬にかけて見ごろを迎えそうです。新燃岳の噴火警戒レベルは3のままで、火口から半径2*は立ち入り禁止。中岳中腹から先の登山道は引き続き立ち入り禁止ですので案内看板に従ってください。



交通安全への 願いを込めて

牧園地区交通安全キャンペーンが4月11日、牧園農村活性化センターであり、同地区の交通安全協会の皆さんや横川警察署、牧園小学校4年生11人などが参加しました。キャンペーンでは、安全運転を呼びかけるチラシとともに、子どもたちが牛乳パックで作ったペン立てもドライバーに配られました。ペン立てには、子どもたちの交通安全へのメッセージも書かれており、同小4年の米村颯真君は「信号を守ってほしいと書きました。今回のことで少しでも交通事故が無くなればうれしいです」と願いを込めていました。

しますが、平成25年3月31日までに本市に住所を有していた方に限ります。

申請は平成26年4月30日まで受け付けます。それ以後の申請、再申請は受け付けられませんのでご注意ください。

子どもの出生日において本市に住所を有する期間が1年未満の方は申請日において市税等・住宅料・保育料など

1 児童福祉課 ☎640099

※出生祝金制度は出産前に18歳未満の子どもを2人以上養育している方が、第3子以降の出生子を養育することになった場合に、第3子以降の子ども1人につき10万円を支給するもの。

CIVIC NEWS

育における野外標本としても大変貴重なものです。

この軟弱な溶結凝灰岩を利用した江戸時代の用水路跡や横川町にある垂直な岩壁に彫られた「赤水の岩堂磨崖仏(県指定文化財)」は、当時の農業史や宗教史を知る上で貴重な資料となっています。

さらには、水質の良い清流にしか生息しない「カワゴケ

9 文化振興課 ☎42111

ソウ」も自生しています。

天降川は地質学・火山学・植物学・歴史学などさまざまな分野の貴重な資料が残されたまさに自然の博物館。これらの貴重な財産を未来へ受け継ぐために、市民の皆さんと一緒に保つて活用に取り組んでいきます。

子ども医療費助成制度

子どもたちの 健やかな成長のために 医療費助成が中学校修了までに拡充



【変更内容】

	新	現 行
制度名	子ども医療費助成制度	乳幼児医療費助成制度
対 象	0歳から15歳に達する日以後の最初の3月31日まで(中学校修了まで)	0歳から6歳に達する日以後の最初の3月31日まで(小学校就学前まで)
助成内容	◆小学校就学前まで保険診療に係る自己負担額を全額助成(現行制度と同じ) ◆小学校就学~中学校修了まで(拡充)保険診療に係る自己負担額のうち、月額1人2,000円を控除した額を助成	◆小学校就学前まで保険診療に係る自己負担額を全額助成

「乳幼児医療費助成制度」は、乳幼児の健康の保持と健やかな育成を図るための制度で、保険診療による自己負担額を助成するものです。

平成25年10月診療分から、乳幼児に限らず、多くの子どものための健やかな育成を図るため、乳幼児医療費助成制度は「子ども医療費助成制度」へ変わり、助成対象年齢が大幅に引き上げられます。

【今後のスケジュール】

5月末	登録申請が必要な対象者に、申請書を郵送
6月~9月末	登録申請受け付け 子ども医療費助成対象者に資格証(カード)を郵送
10月	H25.10.1診療分から助成開始

出生祝金制度を
廃止しました

医療費助成の対象年齢を引き上げたことに伴って、平成25年4月1日、「出生祝金制度」を廃止しました。制度廃止後1年間を経過措置期間とし、平成26年3月31日までに生まれた対象者は申請可能と

●受給資格の登録申請
制度改正により新たに助成対象となる子どもについては、受給資格の登録申請が必要です。登録申請が必要な方には、5月末に登録申請書を郵送します。案内に沿って手続きしてください。

現在、乳幼児医療費助成の対象となっている子どもは、改めて登録申請する必要はありません。



天降川流域が 国の天然記念物に 私たちの美しく貴重な財産を未来へ

平成25年3月27日、「天降川流域の火砕流堆積物」が、国の天然記念物に指定されました。霧島市の国指定天然記念物は、えびの高原の「ノカイドウ自生地」に次いで2件目です。指定されたのは、天降川の新しい渓谷遊歩道に架かるラムネ橋から上流へ天降川・久留味川それぞれ約2キロの範囲で、面積は約16万6000平方メートルの広さです。

この地域の河川の底は、加久藤カルデラ(えびの盆地・約30万年前)の火砕流堆積物をベースに、阿多カルデラ(指定地域・約10万年前)と始良カ



罅穴群

ルデラ(錦江湾・約2万9000年前)噴出の火砕流の地層が連なって露出しています。九州の5大カルデラ(ほかに鬼界・阿蘇)のうち、3つの火砕流堆積物が見られる、地質学的に大変貴重な地域です。

また、軟弱な溶結凝灰岩の河床は、流水で回転した軽石などに削られて穴ができ、さまざまな罅穴をつくり出しています。この罅穴群の特徴は、罅穴形成の初期の段階から罅穴が大きくなって一つにつながり溝や谷間を形成するなど、罅穴の発達過程を見ることができ、学術的にも教

※噴火によって堆積した火山灰などの噴出物が、熱と自重で溶け固まってできた岩。

さざなみの皆さん
 (向井さん：前列中央、立
 山さん：前列右から2人目)



人の風景

THE SCENE

霧島に生きる



情報を声に乗せて、届けていきたい

◎音訳ボランティア「さざなみ」

例

え小さなさざ波でも、いつか大きなうねりになることもある。目立たない地道な活動も、誰かの力につながっている。そんな思いで立ち上げた音訳ボランティアグループ「さざなみ」。二代目の会長を務める向井昭子さん(70)は、「私たちの声を必要としている人がいる限り、続けていきたい」と前を向きます。

音訳とは、目の不自由な方たちのために、文字情報を音声に変換すること。さざなみでは自分たちで録音機を操作し、市が発行した広報誌の音訳を録音、ダビング。社会福祉協議会を通して、必要とする方にテープを届けています。

設立は平成9年。旧隼人町の音訳ボランティアグループ「サフランエコー」に、国分でも活



音訳の録音風景

動してほしいという声が届いたことがきっかけでした。平成10年にはサフランエコーから独立し、「さざなみ」と改称。新たな一歩が踏み出されたのです。当時の会長で、今もメンバーとして向井さんを支える立山輝好さんは「設立当初は手探りの状態で、音訳の基本も分からず、本当に大変でした。県から話し方の講師を招いたり、勉強会を開いたり、利用者にとってより良いものになるよう奔走しました」と当時を振り返ります。現在の会員数は14人。「そんな先輩たちの努力のおかげで、さざなみは活動を続けてこられたんです」と向井さんは言います。

小さいころから本を読むことが好きだった向井さん。平成9年に友人の誘いで活動に参加したのが、音訳との出会いでした。

「本を読むことは得意でも、目の不自由な方に音だけで意味を伝えるのは、本当に難しいことでした。声の調子を変えたり、間の空け方を工夫したり。音訳は朗読とは違うので、感情的な表現は使いません。淡々と読むなかにも、正確な意味を伝えなければなりません。初めは講座や勉強会はもちろん、自宅で新聞を音訳、録音するなど必死に練習を重ねました」

いつの間にか音訳活動に夢中になり、こつをつかんでいった向井さんですが、今でも頭を悩ませることがあります。それは写真の説明。

「広報誌は毎月、すてきな写真が表紙を飾ります。これをどう説明するか、いつも悩みます。聞いてくださる方にこの風景を思い浮かべてほしい。見えなくても目に浮かぶような説明をするように心掛けています」

活動を始めて15年。必死に走り続けてきた15年。その原動力は聞いてくださる方の存在でした。

「録音テープは社会福祉協議会を通して利用者に渡されるので、直接お話をする機会はありません。亡くなられた利用者のご遺族からお手紙をいただいたことがあります。そこには、いつも楽しみに聞いていたこと、自分が死んだ後は必ずお礼を伝えてくれ、と言われていたことが綴られていました。私たちの声はちゃんと届いているんだと胸が熱くなりました」

目の不自由な方に多くの情報を届けたいと思っただけで続けた音訳ボランティア。今では向井さんと会員全員の元気の源になっています。

「さざなみにも若い方が入ってくれました。聞いてくださる方がいる限り、メンバーみんなで協力しながら、これからもこの声を届けていきます」

90分のテープに詰められたたくさんの情報と思いは、今日も誰かの心に届いています。



向井昭子さん(70)

平成9年音訳活動を開始。平成20年、さざなみの二代目の会長となる。さざなみが、永年の功績を認められ、平成22年2月、霧島市社会福祉協議会から、同10月、鹿児島県社会福祉協議会から表彰される。現在も広報誌の音訳をはじめ、イベントのアナウンス、デイサービスでの読み聞かせなどさまざまな活動に励む。国分敷根在住。

音訳ボランティアに関する問い合わせは霧島市社会福祉協議会(☎45-1557)まで。

錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ることを目指します。

錦江湾奥会議



環霧島会議

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



錦江湾奥イベント

垂水市 瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール



- 日時=6月1日(土)午前9時から
- 場所=垂水市文化会館
- 内容=郷土の先人であり吹奏楽の原点である行進曲の父・瀬戸口藤吉翁を顕彰して実施する行進曲のコンクール。
- 入場料=小・中・高校生500円、大人1,000円
- ☎=垂水市社会教育課 ☎0994(32)1111

鹿児島市 鹿児島防災シンポジウム



- 日時=6月7日(金)午後1時30分~3時30分
- 場所=鹿児島市民文化ホール
- 内容=平成5年の8・6豪雨災害から今年で20年目。節目の年にシンポジウムを開催し、工事の状況や教訓を振り返る。
- ☎=鹿児島市危機管理課 ☎099(216)1213

始良市 加治木町くも合戦



- 日時=6月16日(日)午前8時30分から
- 場所=始良市加治木福祉センター
- 内容=クモを戦わせる全国的にも珍しい伝統行事。
- 申込期限=6月13日(木)午後5時
- 参加条件=当日コガネグモ(メス)を3匹持参すること。
- ☎=加治木総合支所地域振興課 ☎(62)2111

環霧島・錦江湾奥イベント情報

環霧島イベント

小林市 ローズガーデンアグリ つるバラまつり



- 日時=5月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)午前8時~午後4時
- 場所=樹のじりアグリサービス(小林市野尻町東麓)
- 内容=有機肥料で育てた80種、130本のつるバラを公開。入場無料。薔薇新苗や腐葉土、野菜なども即売。
- ☎=のじりアグリサービス ☎0984(44)1850

高原町 高原駅開業100周年記念イベント



- 日時=5月19日(日)午前9時30分~午後3時30分
- 場所=J R 高原駅前
- 内容=歌謡・太鼓ショー、焼肉フェスタ、高原駅100周年記念展、お楽しみ抽選会など
- ☎=実行委員会事務局(高原町役場まちづくり推進課内) ☎0984(42)2115

曾於市 森昌子コンサート



- 日時=7月13日(土)【1回目】開場午後2時、開演午後2時30分【2回目】開場午後6時、開演午後6時30分
- 場所=曾於市末吉総合センター
- 入場料=全席指定席 前売券4,000円、当日券4,500円※3歳児未満は入場不可。
- 発売日=5月10日(金)午前8時30分開始
- ☎=曾於市末吉総合センター ☎0986(76)7100

美しく色づいたモミジ



植樹の様子

未来に描く夢

「遊歩百選」に選ばれている曾於市財部町の「悠久の森」の恵みを年間を通して体感することができる自然の宝庫です。その森で14年に渡り、植樹活動を続けているのが、「もみじの森の会」です。

環霧島探訪

—かんきりまたんぼう—



植樹を始めたのは平成12年。まらおこし団体日招塾の活動の一環としてスタートしました。その目的は「自然に触れて楽しむ」こと、「未来へプレゼントを残す」ことです。

もみじの森の会代表の川添義一さんは「もみじ(カエデ科の数を指す)は300年以上生きるといいます。未来の人が、自分たちの植えた木を見る。そんなことを想像すると楽しい気持ちになるんです」と笑顔で語ります。

現在、苗を預かって育てる里親会員は300人以上、一般会員は800人以上、植樹された木は約6500本にのぼります。春と秋に開催される植樹祭には県内外から多くの方が参加し、カエデや山桜などを植えまします。植樹後には、食事会やミニコンサートも開かれ、その交流も楽しみの一つとなっています。

毎年11月に開催される「悠久の森ウォーキング大会」では、植樹されたもみじが美しく色づき、参加者の目を惹きつけています。「もみじの植樹を通して未来に夢を描く」ことをテーマに、もみじの森の会はこれからも植樹活動を続けます。

思い出の味を募集しています。住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、あなたの心に残る、食べたらなぜか元気になる味をエピソードとともにお願いします。採用された方には後日連絡の上、取材させていただきます。(宛先)〒899-4394 国分中央三丁目45番1号 秘書広報課「思い出の味」係

思い出の味

なぜか元気になる Taste of memories

よもぎ餅(右)とニッケイ(けせん)の葉で挟んだけせん団子(左)は、上加世田さんの春の定番お菓子



◎よもぎ餅

【材料】もち米2升、湯がいたヨモギ300g、黒砂糖(粉)500g

【作り方】

- ①もち米を洗い、前日から水に浸しておく。
 - ②翌日、①をザルに取り上げて30分ほど水を切る。
 - ③②を蒸す。
 - ④③にヨモギと黒砂糖を入れてつく。
- ※1日おいて、焼いて食べるとおいしい。お好みでしょうゆをつけたり、のりて巻いたりしてもおいしい。

Recipe (レシピ)

分重久の春山地区で田舎暮らしを楽しむ上加世田桂子さん(64)は、四季の料理や行事食を大切にしています。

40年前、夫・佳生さんと結婚。旧加世田市に住んでいた姑のアツ子さんから多くのことを教わったといいます。

「義母は自然の物や季節感を大事にする人でした。旬の野菜や花を育て、食卓には季節や行事に合わせた料理が並びました。加世田に帰省するたび、本当の母親のように優しく時に厳しく、私に料理や家のことを教えてくれたものです」

中でも上加世田さんが特に思い出深いと話するのがよもぎ餅。「実家で作っていたものと違い、義母のよもぎ餅は黒砂糖を入れます。今のようになめらかな粉状の物が私の役目でした。砂糖を削るのが私の役目でした。手間はかかりますが、初めて食べたときの、口いっぱいに広がるヨモギの香りと優しい甘さは今でも忘れられません」と目を細めます。

ちまきにおせち、かた菓子、

春の訪れとよもぎ餅

ふくれ菓子…。アツ子さんを手伝ううちに、自然と身についた料理の腕と季節を感じる心。上加世田さんは、アツ子さんが亡くなってからも、その味を引き継ぐようにいろいろな物を作り続けています。

今では機械を使いますが、春になると定番のよもぎ餅を作り、佳生さんの県外に住む弟妹や親戚たちにも送っています。「当時はきねと臼でついた餅を家族みんなで丸めるものでした。よもぎ餅は家族の思い出。変わらない義母の味にみんな喜んでくれるんです」。

夢だった田舎暮らしを始めて12年。ほぼ自給自足の生活。庭の畑を飾る野菜やハーブ、花などが、季節の移り変わりを教えてくれます。「自然に囲まれた生活を送っているのも、きっと義母の影響」と上加世田さんは楽しそうに笑います。



◎国分重久 上加世田桂子さん(64)

主要事業一覧

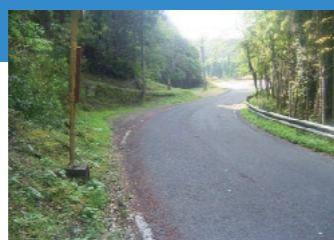
事務事業名	対象地域
住宅環境の整備	
木之房団地建替事業	隼人
麓第一土地区画整理事業	満辺
安全で良質な水の安定供給	
道・送・配水管新設、更新事業	市内全域
公園・広場等の整備	
公園施設寿命化計画事業	市内全域
道路ネットワークの構築	
橋梁長寿命化修繕事業	市内全域
道路アダプト制度事業	市内全域
まち交街路整備事業	国分
川跡～有下線道路整備事業	国分
住吉東線道路整備事業	隼人
宮の杜線道路整備事業	隼人
新川上線道路整備事業	隼人
論地通線道路整備事業	満辺
馬立北原線道路整備事業	満辺
今村～黒葛原線道路整備事業	横川
三体堂線道路整備事業	牧園
三体堂～浅谷線道路整備事業	牧園
年之神～道ヶ迫線道路整備事業	霧島
永池～狩川線道路整備事業	霧島
宝瀬線道路整備事業	福山
牧野～柴建線道路整備事業	福山
バス輸送等の確保	
コミュニティバス等運行事業	市内全域
路線バス支援事業	隼人町を除いた地域
防災関連施設の整備	
消防団車両更新事業	市内全域
常備消防車両更新事業	消防局
防災知識の普及啓発	
防災訓練事業	国分
自主防災組織育成事業	市内全域
交通安全の推進	
交通安全施設整備事業	市内全域
消費生活の安全性向上	
消費生活相談事業	市内全域



鎮守尾～上之原線道路整備事業（国分）

離合不能の橋を対面通行に

この路線は県道大川原小村線と国道10号が交差し、大隅半島と空港を結ぶ路線。幅が狭く離合ができず信号待ちによる交通渋滞が発生するため、新たに幅員10.25mの橋を上流側に建設し、渋滞解消を目指します。平成27年度完成予定。



城山2号線道路整備事業（横川）

子どもたちを守る道路改良

この路線は急カーブが続く市道であったため、カーブの緩和と歩道を整備することによって安全に通学や通勤ができるように改良します。延長1,660m、歩道を含む幅員は7.5m。平成30年度の完成を目指しています。



都市計画道路新町線整備事業（国分）

高架橋で結ぶ新たな道

長年の懸案であったこの路線は大隅方面から隼人地区や鹿児島空港方面へのアクセス道路として、また朝夕の市街地の渋滞緩和を目的とした道路で、国分向花町の奈良田団地前からJR日豊本線を跨線橋で渡り、第一工業大学までの整備を進める予定。



浜之市土地区画整理事業（隼人）

魅力ある街並みづくり

隼人町浜之市地区は宅地規模が小さく、老朽住宅も多く、住宅が密集していました。そこで、都市計画道路・区画街路等整備や公園などの整備と合わせて既成市街地の再生と地域の発展を図っています。事業は平成30年度を目途に完成する予定です。



防災行政無線整備事業

市民の安心・安全を守る

防災行政無線は情報伝達で一元化を図り、デジタル化への対応や老朽化している機器の更新を行います。市役所から各自治会への無線放送や外部スピーカーでの直接放送など緊急時における情報伝達手段の充実を図ります。

「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」を目指して
霧島市の未来予想図

第一次霧島市総合計画7つの柱

- ①快適で魅力あるまちづくり ②自然にやさしいまちづくり ③活力ある産業のまちづくり ④育み磨きあうまちづくり ⑤たすけあい支えあうまちづくり ⑥共生・協働のまちづくり ⑦新たな行政経営によるまちづくり

第1節 快適で魅力あるまちづくり



交通渋滞の緩和と人の交流
[新川北線道路整備事業] しらさぎ橋整備事業
公算によって命名されたしらさぎ橋は、国分地区と隼人地区を結ぶ隼人町住吉地内の天降川に架かる橋です。総延長は277mで幅員は16m。平成27年度末の完成を目指しています。

妻と小学1年生、2歳の娘の4人家族です。10年前に霧島市に来て市内を転々としたが、娘の入学前に天降川小学校に近い場所に引っ越しました。橋ができると対岸の隼人中学校や公園に行くのにも便利、車の多い国道10号に出なくていいので喜んでます。橋ができてもしらさぎのすむ自然環境を残してほしいです。



◎しらさぎ橋命名者
瀬戸山 章さん(42)
さなえちゃん(2)
隼人町住吉(新川地区)

平成17年11月に合併した霧島市は、人口・面積ともに県下第2の都市として誕生し、今年で8年目を迎えました。そこで、今回からシリーズで「霧島市の未来予想図」を「第一次霧島市総合計画」に沿ってお伝えします。

総合計画は、霧島市の全ての計画の上位に位置する計画で、会社に見立てると「経営方針」、木に見立てると「幹となる部分」にあたるものです。策定に当たっては、市民、行政委員会、学識経験者、経済団体・福祉団体をはじめとする各種団体など多くの方に協力をいただきました。

計画期間は、平成20年度から平成29年度までの10年間で、この間に、霧島市が目指すべきまちの将来像を「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」と定め、その実現に向けて7つの柱（政策）を掲げ、各施策などに積極的に取り組んできました。

本年度は、昨年度で計画期間のうち前期5年間で満了したことから、後期5年間の始まりの年に当たります。

第1回目は、7本柱の一つ「快適で魅力あるまちづくり」の実現に向けた主な事業を紹介いたします。

一つ一つを実現する

市では、「快適で魅力あるまちづくり」を実現するために、さまざまな事業に取り組んでいます。

生活基盤の充実のために、団地や区画整理などの住宅環境の整備、安全で良質な水の安定供給、公園・広場などの整備を進めています。

交通体系の充実では、道路の新設改良事業による道路ネットワークの構築やふれあいバスの運行事業、路線バス支援事業によるバス輸送などの確保に努めています。

防災対策の推進では、消防団車両の更新や消防水利整備事業などの防災関連施設の整備と防災知識の普及啓発を図ります。

このほか、交通安全・防犯活動の推進など安心・安全なまちづくりに努めています。

次号は「自然にやさしいまちづくり」です。



前回は、大隅国の「国府」がなぜ霧島地域に置かれたのかについて述べましたが、今回は国府の中心施設である「国衙」、とりわけ大隅国の政治を行った「政庁」はどこにあったのかについて紹介します。

シリーズ大隅国を知る ④

大隅国府はどこか？

一 国府はどこか？

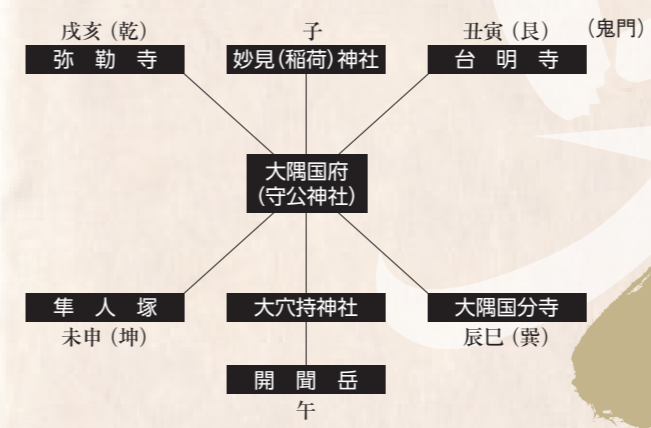
国府の所在については、建国の記事が書かれている「続日本紀」には触れられていませんが、平安時代中期に編さんされた『倭名類聚抄』の中には「久波々良国府」、平安時代末期に編さんされた『色葉字類抄』には「桑原国府 曾於府」、鎌倉時代中期に編さんされた『拾芥抄』には「曾於郡」と記されています。これは、大隅国府が桑原郡と曾於郡の郡境付近にあったことを表しています。

では、郡境はどの辺りにあったので

しょうか。延長五（九二七）年に編さんされた『延喜式神明帳』には神社の所在地が、鹿児島神宮は桑原郡、大穴持神社（国分広瀬）・韓国宇豆峯神社（国分上井）は曾於郡と書かれていることから、広瀬川（旧天降川）を郡境にしていたことが推測できます。

このように、大隅国府が国分平野にあったことは間違いありませんが、その所在については、国分府中と隼人町真孝の2つの候補地があります。

大隅国府と方位（風水）



二 大隅国府中説

大隅国府が国分府中に置かれたとされる根拠としては、次のようなことが挙げられます。

- ① 府中一帯から古墳・奈良・平安時代の土器が出土している。
- ② 府中の近くに大隅国分寺跡がある。
- ③ 府中を中心として、東北（鬼門）の方向には台明寺が、北方には稲荷神社（旧妙見神社）が、南方に大穴持神社などがあり、古代の都市づくり（風水思想）にあった位置に神社仏閣がある。

※大隅国府と方位（風水）図参照

- ④ 府中の周辺に和歌で用いられる「歌枕」の場所が点在する。
- ⑤ 府中は北側に姫城山があり、東西・南側は河川（天降川・手籠川）に囲まれ、当時の隼人族との関係（確執）を考えると天然の要害となっている。
- ⑥ 平成19年1月に、国分府中「気色の杜遺跡」から9世紀末から10世紀初頭のころの仮名墨書土器が出土した。

三 大隅国府真孝説

一方、大隅国府が隼人町真孝に置かれたとする根拠としては、次のようなことが挙げられます。

- ① 国府の広さは6町（約700m）四方とされているが、府中にはその広

大隅国建国1300年 記念

大隅国は和銅6(713)年に建国され、その国府は霧島市にあったといわれています。今年は建国1300年を迎えます。そのことを記念して、さまざまなイベントを実施します。

■連続講演会 第5回講演会

- 日時= 5月18日(土) 午後1時30分～3時
- 場所= 隼人農村環境改善センター
- 講師= 栗林文夫さん(鹿児島県歴史資料センター黎明館主任学芸専門員)
- 内容= 「鎮護国家と台明寺」
- 申込方法= 電話で。 ●申込期間= 5月17日(金)
- ◎ 問合せ= 文化振興課 ☎(42)1119

さはない。

- ② 歴史書に「桑原」と書かれている。
- ③ 真孝のコウは「コフ」すなわち国府を指す。
- ④ 奈良・平安時代の遺跡がある。

このように、大隅国府の所在については2つの説があり、現段階では、国分府中説の方が有力ですが、教育委員会としては、今回の建国1300年を契機に、大隅国府の所在や規模などを明らかにするために、発掘調査を実施していきたいと考えています。

(文責 鈴)

新刊紹介

碧空のカノン

航空自衛隊の音楽隊に入隊した鳴瀬佳音。ある日、コンサートで使う楽譜を用意していたところ、担当するアルトサクソフの楽譜が楽譜庫から紛失していた。いったいどこに消えたのか？



九州オートキャンプ場ベストガイド

九州各地のオートキャンプ場がある施設を紹介。炊事場やお風呂・シャワー、レンタルグッズなど、詳細なデータが満載。



もつとこつというとき どうするんだっけ

みんなの言っていることは100%正しい？小学生のまきちゃんと一緒に考えることで、身の回りの課題に自分で対処する自立心を身につけることができる。



こんちゆうかくれんぼクイズ

昆虫がどこにいるか、当ててみましょう。敵に見つからないように身を守ったり、獲物を捕まえたりする様子が鮮明な写真で分かります。



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

思わず空を見上げたくなる一冊

(満辺在住) 家村千鶴さん おすすめの本



空の名前 作者：高橋健司

とても綺麗な本です。季節の言葉や空の風景が身近な自然の写真と共にあふれるほど載せられています。手に取ると思わずページを開きたくなる歳時記風天気図鑑です。この本を見ると空を見上げたり、何気ない自然の一場面に目を止めたり、言葉を口にしたくなる機会が増えるかもしれません。

- つくもがみ、遊ぼうよ／島中恵
はだかんぼうたち／江國香織
来世は女優／林真理子
愛の夢とか／川上未央子
ジヴェルニの食卓／原田マハ
大迷走／逢坂剛
手のひらの砂漠／唯川恵
アニバーサリー／窪美澄
ささちゃんたちの夜／よしもとばなな
常在戦場／火坂雅志
千年の百冊／鈴木健一
えんそくおにぎり／宮野聡子
魔女のシュークリーム／岡田淳
いい子じゃないもん／田部智子
家出しちゃった／藤田千津
はしをつくる／エドワード・ミラー

イベント案内

えほんとうらべうたの会

- 日時= 6月6日(木)、13日(木) 午前10時30分～11時30分
- 場所= 隼人農村環境改善センター 会議室
- 対象/定員= 2・3歳児とその保護者/親子20組
- 講師= 細川真弓さん

※電話で申し込みください。
問・申= 隼人図書館 ☎(43)7574

イベント名	日時[対象]	場所/問い合わせ先
幼児と小学生のためのおはなしの部屋(りんごの木)	6月1日(土) 10:30～11:30	国分図書館 ☎(64)0918
赤ちゃんとうらべうた・えほんのへや(りんごの木)	6月3日(月) 10:30～11:00	
ほととの森おはなし会	5月25日(土)、6月8日(土) 14:00～14:30	隼人図書館 ☎(43)7574
おはなしの部屋	5月19日(日) 11:00～11:30 [幼児・小学生] 6月6日(木) 16:00～16:30 [幼児] 6月7日(金) 11:00～11:30 [赤ちゃん]	
語りの部屋(語りの会あもり)	5月12日(日)、6月9日(日) 11:00～11:40	横川図書室 ☎(72)1596
おはなし会(おはなしの会「さんぼ道」)	5月18日(土) 14:00～15:00	
お話の時間(紙ふうせん)	5月20日(月) 15:30～16:30	霧島図書室 ☎(57)0316
おはなし広場	5月25日(土) 10:00～11:30	福山図書室 ☎(56)2026

※国分図書館のイベントは健康マイレージ対象事業です。

健康マイレージ事業に参加しましょう

5月から平成25年度の健康マイレージ事業が始まりました。市内で行われる健康生きがいづくりに関するイベントなどに参加してポイントを獲得し、6ポイントを貯めて応募すると、健康グッズなどが当たります。一人一人健康について考え、貯めて当てて健康になりましょう。

※広報誌内の「マーク」は対象事業です。

子宮頸がん等予防接種の定期予防接種導入について

「子宮頸がん予防ワクチン予防接種」と「インフルエンザ菌b型（ヒブワクチン）予防接種」、小児用肺炎球菌予防接種」について、法律の一部

改正があり、4月から定期予防接種として実施することになりました。市でも次の内容で実施しています。

- 対象者（接種日時点）
生後2か月～5歳の誕生日までの子どもと、中学1年生～高校1年生
- 接種内容／料金
接種者の状況により接種回数は変わります／無料
- 予診票
中学1年生になる生徒と平成25年4月以降に2か月になる子どもがいる家庭には個別に通知します。

緩和ケアフォローラムが開催されます

始良市加治木町にある国立病院機構南九州病院は、始良・伊佐保健医療圏の地域がん診療連携拠点病院です。

「いのちをささえ、いのちをつなぐ」と題し、緩和ケアフォローラムが開催されます。

●日時
5月18日（土）午後1時30分～4時20分（午後1時開場）無料

●場所
加音ホール大ホール（始良市文化会館）

●講師
山崎章郎さん（在宅診療専門診療所ケアタウン小平クリニック院長）

●申込方法
電話で参加者名（複数の場合は代表者名）、人数、電話番号をお知らせください。

◎国立病院機構南九州病院がん相談支援センター ☎(62)3677

マダニにかまれないように注意しましょう

マダニなどにかまれた人が死亡する事例が全国で発生しています。衣類や寝具に発生するダニとは異なり、草むらやぶなどに生息するツツガムシ類やマダニ類の病原体に感染することが原因であるため、ダニにかまれないことが一番の予防策です。ダニは春から秋にかけて活発化します。生息地の山林や草むらなどに近づくとときは、なるべく肌の

露出を避け長袖・長ズボンなどの格好をしましょう。かまれないことも多いので、野外活動などの後は体にダニがついていないか確認し、見つけた場合は、なるべく病院（皮膚科）などで早めに取り除くことが大切です。かまれてから2週間ほどの間に発熱・発疹などの症状が出た場合は、医療機関を受診し、ダニにかまれたことを告げてください。

◎健康増進課健康増進グループ ☎(64)0905

「スッキリしま教室」でシェイプアップ

●対象
40歳以上で特に運動制限などが無い方（国保加入者以外の方）

●国保加入者で特定健診を受診される方には後日案内があります。

●時間
午後1時～3時30分

●募集人員
各会場先着15人

●申込開始日
5月17日（金）

●申込方法
電話で。

◎すこやか保健センター ☎(42)1178

ワンポイント健康・栄養の話	脱・ぼっこりお腹エクササイズ	国分	満辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
●ちよつと気になるメタボの決め手 ●中性脂肪・血糖値・尿酸値	●長くない筋肉を伸ばす ●腕・背中・お尻	6月17日	6月21日	6月20日	6月19日	6月25日	6月18日	6月14日
●ちよつと気になる血圧・脳梗塞 ●血圧を下げる野菜と4つのコツ	●ソフト体操 ●お腹・お尻	7月8日	7月18日	7月25日	7月17日	7月16日	7月11日	7月22日
●ちよつと気になる血糖値・HbA1c ●3つの「あ」あまいもの編	●チューブで肩こり解消・太腿シェイプ	8月12日	8月16日	8月22日	8月19日	8月20日	8月1日	8月2日
●ちよつと気になる血糖値・HbA1c ●3つの「あ」あぶらある編	●ダンベル体操で腕・お尻・お腹シェイプアップ	9月3日	9月10日	9月12日	9月11日	9月24日	9月5日	9月9日
●ちよつと気になるコレステロール・尿酸値 ●健康情報と食品表示のウソ・ホント	●ストレッチポールで体のゆがみをラクにする	10月7日	10月9日	10月24日	10月30日	10月22日	10月2日	10月28日

●国分/国分保健センター、●満辺/満辺保健福祉センター、●横川/横川保健センター、●牧園/牧園保健センター、●霧島/霧島保健福祉センター、●隼人/すこやか保健センター、●福山/福山活性化センター

平成25年度霧島市総合防災訓練を実施します

東日本大震災や新燃岳噴火などの大災害をはじめ、地球温暖化による異常気象が引き起こす集中豪雨などの災害に適切に対応するため、防災関係機関相互の連携や災害情報の共有を目的として警察、消防、自衛隊など約30機関、約800人が参加して防災訓練を行います。

準備を含め会場周辺は5月20日（月）から22日（水）まで関係車両の通行が増えますので、近辺を通行の際はご注意ください。

また、訓練当日は防災ヘリや救難艇の使用も予定しておりますので、会場周辺の方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

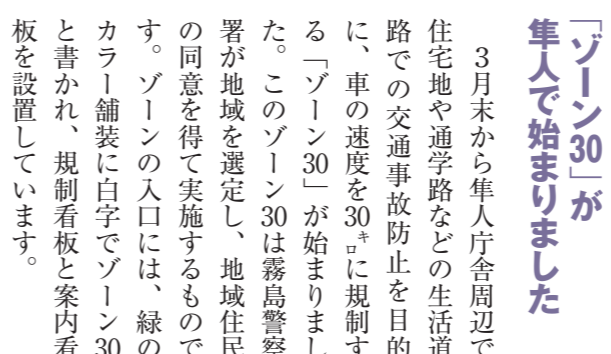
●日時
5月22日（水）午前9時～正午（予定）

●会場
国分海浜公園とその周辺地域

◎安心安全課 ☎(64)0997

「ゾーン30」が隼人で始まりまし

3月末から隼人庁舎周辺で、住宅地や通学路などの生活道路での交通事故防止を目的に、車の速度を30キロに規制する「ゾーン30」が始まりました。このゾーン30は霧島警察署が地域を選定し、地域住民の同意を得て実施するものです。ゾーンの入口には、緑のカラー舗装に白字でゾーン30と書かれ、規制看板と案内看板を設置しています。



◎霧島警察署交通課 ☎(47)2110

市の障がい者相談員、人権擁護委員を紹介し

障がい者相談員
市が委嘱した障がい者相談員は、身体に障害のある方、知的に障害のある方の更生援護の相談に応じ、就業指導、生活改善の指導などを行います。お気軽にご相談ください。

◎長寿・障害福祉課 ☎(64)0995

身体障がい者相談員	氏名	連絡先
国分	池田 和夫	☎(45)1148
	種子田千博	☎(46)8966 Faxのみ
	愛場 郁夫	☎090(5121)8377
	福永 セキ	☎(46)0224
	池田 和弘	☎(45)5086
	満辺 久木田憲昭	☎(59)2893
	横川 日高 喜一	☎(72)0297
	黒江 明	☎(78)2130
	今村 吉春	☎(78)2053
	霧島	鈴木ミチ子
隼人	政つかさ季徳	☎(42)1647
	古川 輝雄	☎(42)4201
	笹田 和夫	☎(42)8134
福山	南 克司	☎(43)3312
	有村 篤義	☎(56)1122
知的障がい者相談員	有村 初夫	☎(56)2537
	黒木理恵子	☎(47)0633
	脇田 涼子	☎(72)1415
	溝口 豊子	☎(43)3008
牧園・霧島	外園 國守	☎(78)4020

人権擁護委員（敬称略）
家族・相続の問題、差別、いじめなど、さまざまな人権に関する相談に応じます。

●国分
川畑和子、漆木ミエ、山下佐和子、石塚義人、柳田秀徳

●溝辺
野元耕一、剝岩裕

●横川
山下弘文

●牧園
古川正利

●霧島
中神実

●隼人
下玉利守、居細工學、井上嘉知子、福丸育美

●福山
永田聖子

【全国一斉特設人権相談】

人権擁護委員法の施行日である6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、全国一斉に特設人権相談所を開設します。（相談無料・秘密厳守）

●開設日時
6月3日（月）午前10時～午後3時

●開設場所
国分総合福祉センター、溝辺総合支所、横川健康温泉センター、牧園老人福祉センター、霧島総合支所、隼人庁舎、福山公民館（牧之原）

◎鹿兒島地方支務局霧島支局 ☎(45)0064

労働なんでも相談会開催

社会保険労務士などの労働相談員が解雇や賃金など労働条件に関する相談、雇用保険・社会保険制度に関する相談などに応じます。（相談無料・秘密厳守）

●相談日
5月29日（水）

●受付時間
午前10時～正午、午後1時～4時

●場所
市役所国分庁舎6階602会議室

◎商工振興課 ☎(64)0903



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※問=問い合わせ先 申=申し込み先 応=応募先
※健マ=「健康マイレージ」対象の事業

お知らせ

議員と語り合いを開催します

市議会では、積極的な情報公開や分かりやすい議会運営に努めています。「議員と語り合い」は議員が各地域に伺い、議会活動の状況を直接報告し、市民の皆さまと意見交換をする会です。

日時	会場
5月13日(月) 18:30～20:00	国分会場 野口公民館(野口町12-10)
	溝辺会場 崎森地区公民館(崎森2718-1)
	横川会場 横川健康温泉センター(中ノ254-1)
	牧園会場 高千穂地区公民館(高千穂3864-393)
5月14日(火) 18:30～20:00	霧島会場 霧島保健福祉センター(田口500)
	隼人会場 中福良地区公民館(嘉例川2174-4)
	福山会場 佳例川地区公民館(佳例川1541)
	国分会場 上小川公民館(上小川844-2)

問=議会事務局 ☎(64)0922

国分キャンプ海水浴場 バンガロー・貸しテントの予約受け付け

7月1日から8月31日まで使用できます。次の要領で予約を受け付けます。

●受付期間=6月1日(土)～8月31日(土)

※6月1日は現地でのみ受け付けます。

●受付時間=【6月】午前9時～午後5時(毎週月曜日は休園日)、【7、8月】午前9時～午後6時(無休)

問=国分キャンプ海水浴場管理事務所 ☎(45)1550

募集

乳児・小児普通救命講習会

子どもが心肺停止になった場合に備えて乳児・小児の心肺蘇生法、気道異物の除去法、AEDの使用法などを学習します。当日は託児所を設けます。

●対象者=市内在住で、16歳未満の子がいる方か小児に関わることが多い方(保育士、幼稚園・小・中学校職員、スポーツ指導者など)。

●日時=6月2日(日) 午前9時～正午

●場所=消防局消防本部3階会議室

●定員/受講料=先着15人/無料

●申込方法=電話で。

●申込期限=5月27日(月)

問・申=消防局警防課救急救助係 ☎(64)0432

平成25年全国戦没者追悼式

全国戦没者追悼式に参列される遺族の方を募集します。

●日時=8月15日(木) ※前日から団体行動

●場所=日本武道館(東京都千代田区)

●対象者=戦没者の配偶者および三親等内の遺族、一般戦災死没者の配偶者および三親等内の遺族(過去に参列していない方を優先します)

●申込期限=5月31日(金)

問=保健福祉政策課 ☎(64)0904、隼人福祉課、各総合支所市民福祉課

問=県庁社会福祉課 ☎099(286)2830

英語でティータイム

アメリカ人の国際交流員とティータイムを過ごしませんか。一緒に英語で話しながら、異文化の交流をしましょう。

●日時=5月29日(水) 午後2時～3時

●場所=国分公民館2階調理講義室

●定員/参加費=先着15人/無料

●申込期限=5月22日(水)

問・申=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

メディアセンター主催講座

101/パソコン基礎講座(入門コース)

●期日=6月11日(火)、12日(水)

102/パソコン基礎講座(再チャレンジコース)

●期日=6月13日(木)、14日(金)

●対象=これからパソコンを始める方、再度基礎から学習したい方。

●時間=午前9時30分～午後3時30分

●受講料/定員=1,000円/各20人

●会場=メディアセンター

●申込方法=往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。※両コース同時申し込み不可

●申込締切=5月28日(火) 必着

●受講決定=はがきで通知(申込多数の場合は抽選)

問・申=メディアセンター ☎(64)0919

〒899-4394国分中央三丁目45-1

ステキにシェイプアップ教室

成人女性の3人に1人、50歳以上になると2人に1人の高い割合で、ぼうこうや内臓を支える骨盤の底の筋肉が緩み「くしゃみや走ったりするのが不安」「トイレが気になって外出がおっくう」という方が増えています。

自分で無理なくできる「コンチネンス体操(骨盤底筋体操)」と「健康美人をつくる栄養の話」で、心も体もすっ

きりシェイプアップしましょう。

●対象=65歳以上の女性で特に運動制限などがない方

●場所=すこやか保健センター

●時間=午前9時～11時30分

●募集人員=先着20人

●申込期間/申込方法=5月16日(木)から/電話で。

期日	内容
6/6(木)	初めてのコンチネンス体操(骨盤底筋体操) リラックスストレッチで心と体のバランスチェック
6/19(水)	コンチネンス体操・ソフトジムボールで腕とわき肉シェイプアップ 健康美人を作る栄養の話～カラフルな食事と毎日野菜が元気の秘訣～
7/4(木)	コンチネンス体操・ストレッチポールで体のゆがみと背中スッキリ そろそろ気になる・知ってよかった!らくらく介護のコツ
7/17(水)	コンチネンス体操・ストレッチポールで体のゆがみと背中スッキリ 健康美人を作る栄養の話～お菓子・間食・油脂編～
7/31(水)	コンチネンス体操総集編 ごほうびアロマセラピーで心と体の癒やし体験

問・申=すこやか保健センター ☎(42)1178

隼人錦江スポーツクラブ情報

■水中トレーニング教室(隼人温水プール)

温水プールを利用して水中で歩いてみませんか。水に親しむことで気持ちも体もリフレッシュできます。

●期間=5月23日～7月25日(毎週木曜、全10回) 午前10時～正午

●定員/受講料=20人(成人男女)/1,500円

■テニス講座(隼人庭球場)

テニスの基礎・基本を仲間と語り合いながら楽しく学びませんか。

●期間=5月22日～7月24日(毎週水曜、全10回) 午後7時～9時

●定員=30人(成人男女、初心者に限る)

●受講料=1,500円

問・申=NPO法人隼人錦江スポーツクラブ

☎(55)0188

霧島高校「陶芸・絵画」講座

陶芸と絵画(スケッチ・水彩・油絵など)の講座を行います。陶芸のみ、または絵画のみの参加でもかまいませんので、お気軽にご参加ください。

●日時=[開講式など] 6月1日、[陶芸] 6月8日・15日・22日、7月6日、[水彩・油絵] 7月13日、8月31日、9月14日・28日、10月12日(土曜、全10回) 午後2時～4時

●会場=霧島高等学校美術室

●定員=20人(申込多数の場合は抽選)

●対象者=鹿児島県民(小・中・高校生除く)

●申込期限=5月24日(金)

●申込方法=はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号

を記入のうえ郵送。

問・申=霧島高等学校「県民大学係」 ☎(76)0039

天降川地区共同利用施設自主講座

■美容と健康に楽しいフラダンス(初心者向け)

●日時=6月4日・18日、7月2日・16日、8月6日・20日、9月3日・17日、10月1日・15日(火曜、全10回) 午後1時～3時

●定員=先着20人(成人女性)

●準備するもの=筆記用具、タオル、飲み物。(動きやすい服装で参加してください)

●受講料=4,200円(全10回分、CD1枚込み)

●申込方法=直接または電話で。

問・申=天降川地区共同利用施設 ☎(43)1951

霧島食育サポーター養成講座

食生活の基礎と霧島の郷土料理、食農体験の重要さを3回コースで学びます。

●場所=霧島保健福祉センター、霧島食育研究会農場

●定員/対象者=先着20人/市内在住者

●参加費=3,500円(全3回分、教材・食材費込み)

●申込方法=電話で。

日時	時間	内容
5/29(水)	9:30～14:00	食生活の基礎、霧島版食事バランスガイド、調理実習
6/21(金)	9:30～14:00	田植え、あくまきづくり、はがま炊飯
7/26(金)	9:30～14:00	創作里山料理など

問・申=NPO法人霧島食育研究会(千葉)

☎090(4982)8898

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員は総務大臣から委嘱を受けた委員です。国の役所などに対する苦情、要望、相談ごとを聴き、その解決や実現を図る皆さんの身近な相談窓口です。

各地区の行政相談委員が電話で相談に応じています。また、定例行政相談会で直接相談することもできます。(相談の日程は随時広報誌でお知らせします) 相談は無料で秘密は固く守られます。

(敬称略)

地区	行政相談委員氏名	住所(大字)	電話
国分	川畑 巧	国分上之段	(48) 2662
	柳田 秀徳	国分名波町	(47) 1394
溝辺	今吉 睦美	溝辺町麓	(59) 2421
横川	本村 豊隆	横川町上ノ	(73) 2741
牧園	山口 健一	牧園町宿窪田	(76) 0456
霧島	後庵 嘉文	霧島大窪	(57) 1315
隼人	勝間 昭	隼人町姫城一丁目	(43) 4008
福山	篠原 市呂	福山町福山	(56) 1745

問=秘書広報課広報広聴グループ ☎(64)0955



豊廣良子さん(国分)

Readers Voice 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



しまかでしたので、詳しい地図があれば実際に行く方も多いのではないかと思います。いつか載せてくださいね。(れも49歳女性)

もっと詳しく掲載できればよかったです。申し訳ありません。教育委員会では大隅国建国1300年に関する史跡巡りを実施中です。ぜひご参加ください。お問い合わせは文化振興課まで。(42)1119

知識向上、健康増進といろいろな講座が開設されています。楽しく学べて人との交流もできる。皆さんも受講してみたいかがですか。

禁 煙してから体重増加中。私のと一緒にダイエツトしている妻はたまに近所を散歩しています。

桜の季節は鹿児島神宮近くの用水路沿いをてくてく。水源付近の道路が整備され以前よりも歩きやすくなりました。頑張つて歩いて帰路はなぜか手にアイスの入った袋がぶら下がっています。(さんせい45歳男性)

うーん、残念。そのアイスで体重は元通りです。でも運動をせずにアイスを食べるよりは絶対に運動をした方がいいと思います。

先 月、結婚40周年ということで山の神様(妻の意味)にねぎらいを兼ねて4泊5日の台湾旅行に出かけました。

健 康維持を目標に今年度も頑張ろうとプール通いをして一人です。指導者からストレッチを教えてください。プール内で異年齢の方々とウォーキングやおしゃべりをしながら運動したりしているとても楽しく役に立つこともたくさんあり一石二鳥です。

公民館講座や広報誌に掲載されている講座などに参加することです。いろいろな方々と接する機会に恵まれるのではないのでしょうか。(M・K 66歳女性)

困っていた私を見た娘さんが、母親に荷物を預け手伝ってくれたのです。「ありがとう」の一言で名前も聞かずに別れたのですが、その娘さんが女神に見えました。

国分駅の2番ホームに渡る階段にエレベーターを付けてください。足の痛い方、妊婦さん、階段が困難な方など困っていると思います。その身にならないと分らないのです。これから高齢化社会で運転ができなくなる人も増えるので、エレベーターが使えるようになつたらJR利用者も増えること間違いなしです。(バーバー73歳女性)

【新コーナーへの募集案内】
今月から始まった新コーナー「若者掲示板」。サークルや地域おこしグループ、スポーツチームなど活動紹介や会員募集を掲載して、もっと仲間を増やしてみませんか。
◎ 〓 秘書広報課 広報広聴グループ ☎(64)0655

初 孫が7月に生まれるんです。今から待ち遠しくて仕方ありません。お嫁さんのお腹がどんどん大きくなっていく。昔の自分のころを思い出します。

私は3人の子どもに恵まれました。長男、長女、次女です。その長男に子どもができたんです。今はお腹にいる時に男の子だと教えてくださるとのこと。孫は自分の子どもとはまた違ったかわいさがあるといわれます。

私もあれして、これして遊ぶ、また、買ってあげよう、まだ先のことなのに何か

一人笑顔になるんです。早く出てこい元気な男の子。このぼりが待ってるよ。(ばーば54歳女性)

「おばあちゃん」と言われるとうれしくなるのでしょね。初孫ということですが、これから何回わくわくする喜びが待っているでしょう。

さつま狂句

人生にや 努力に勝る 宝なし

踏まれても 花咲く日待つ

に住んでいた方、台湾の若い人を預かっている方などたくさんいます。それだけに日本とのつながりを強く感じます。現在、台湾は自然や産業、国際関係でも多くの課題を抱えていると聞いています。今回の旅行でもっと台湾との親交を深めるべきだと強く感じました。また、帰国時の鹿児島空港では台湾就航一周年とかで記念品をいただき、同行の方がインタビューに応じていたことも楽しいハプニングでした。(広瀬のだったん70歳男性)

私も台湾就航一周年の取材に行き、そこで80歳を超えた

若者掲示板

サークルや地域おこしグループなど活動紹介や会員募集を掲載しています。



ママサポートプロジェクトがこしま

〓=事務局(山口) ☎(43)8126
霧島市を中心に県内各地の有志が「自分のやれること」を持ち寄って、無理のない「子育て世代のサポート」を実施しています。今年は、地域のつながりづくりをテーマに活動。6月1日「うまれる」上映準備中。仲間募集。



国分ローターアクトクラブ

〓=鶴留 ☎080(1738)2455
私たちは18歳から30歳までの青年男女で活動。個々の能力開発のために役立つ知識やスキルを身に付け、会員同士の親睦と地域社会への奉仕活動を行っています。一緒に活動しませんか。例会は第2・第4水曜日19:30~20:30。



Kiridoku (きりしま読書会)

〓=岩尾 mail:mamagotose@yahoo.co.jp
自分のオススメの本を持ち寄り、グループ内で本を紹介し合う読書コミュニティ。「本を通じて人生をより豊かにする仲間が集う場」をコンセプトに月に1回、読書会を開催しています。豊かな人生を過ごす一歩にしませんか。

私は旅行がとても好きです。旅行には、日常から離れ、家族や友人と絆を深め、地元の方との触れ合い、その土地の風土や食文化に触れ、心を癒



数ある観光スポットの中でも大田さんお気に入りの場所。韓国岳山頂から朝日を浴びる新燃岳と高千穂峰を望む

やす魅力があるからです。旅行好きが高じてか、前職は旅行会社に3年ほど勤め、今、勤務している観光協会は2年目になりました。普段は観光

夢のサポートを目指して

◎大田 舞美

案内所での業務の傍ら、霧島祭・龍馬ハネムーンウォーク・登山イベントなどさまざまな主催イベントに追われ忙しく充実した毎日を送っています。旅行会社は「夢を売る仕事」とよく言われますので、私は観光協会の仕事を「夢のサポート」と位置づけています。観光案内所への問い合わせの多くが、観光案内・交通手段・時刻表についてなのですが、お客さまの利便性や私ならこうしてほしいなと思うことを考えながら対応するよう心掛けています。例えば、霧島神宮まで路線バスを利用される方には、発着時刻と乗り場の案内に付け加えて「霧島神宮のバス停から本殿までは徒歩15分くらいかかります。バス停を降りた所から見える鳥居は第一の鳥居なので、本殿とは逆方向になります。朱い欄干の神橋を渡って見えてくる階段の方向に歩いていってくださいな」と、聞かれてもいないのに答えます。また、鹿児島弁のイントネーションに

触れてほしいので、標準語は極力使わないようにしています。「霧島っていい所だね」と言っていたら、霧島の素晴らしさを再認識させられ誇らしく思います。そんなときは、お客さまにも同じように自分の故郷の良さを再認識していただきたいと思い、私もお客さまにどちらからお越しか尋ね、その土地の感想や印象を伝えたり、どんな所なのか教えていただいたりしています。そうした触れ合いの中で、今までお客さまには多くの励みをいただきました。時には、お礼の手紙や案内所へ会いに来てくださる方もいらっしゃいます。サポートする側の私が、逆に人の心の温かさや笑顔をいただき、日々の大きな支えとなっています。霧島市にお住まいの皆さんにはぜひ、観光客の方に「かこんま弁」で積極的にかかっていたらありがたいです。数ある観光地、温泉地の中から霧島に来てくださったお客さまを地域全体で温か



Profile

おおた まいみ(25)
霧島市霧島出身。5年ほど県外に出て、改めて霧島の素晴らしさに気付く。旅行業務取扱管理者の資格を生かし、平成24年から霧島市観光協会に勤務。苦手だった登山も、霧島市ふるさとガイドクラブの方に山の楽しさを学び、今ではすっかり魅了され霧島の四季を楽しんでいる。

く迎え「夢のサポート」をし、ていたらいいなと思います。観光協会の本年度の計画には、観光バスツアーや自転車での観光コースの提案、ホームページのリニューアルなどがあります。初めての試みには、期待の反面不安な点もありますので、皆さまのお力添えをいただきながら取り組んでいきたいと思っています。観光の活性化は、もちろん地域経済にも反映されていきます。私たちの霧島がより良い絆で結ばれるマチになりますように☆

◎お便りをくださった方の中からUne Passion(アン パッション)の1,000円の商品券を10人の方にプレゼント。応募締め切りは5月16日(木) 当日消印有効です。※当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

5 PRESENTS 1,000円の商品券をプレゼントします

私たちが作るお菓子を通じて一人でも多くの皆さまが幸せを感じられるよう、毎日、正直にお菓子作りに取り組んでいます。出来たて、焼きたて、生まれたてのお菓子を感じていただければ幸いです。色・味・甘い香りをお楽しみください。

Pâtissière
問=Une Passion(アン パッション) 国分中央一丁目3-42(国分駅前) ☎(73)6938



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

- ◎人口 / 127,537人(-664)
 - 男性 / 61,268人(-393)
 - 女性 / 66,269人(-271)
 - 出生 94人 / 死亡 112人
 - 転入 1,031人 / 転出 1,674人
- ◎世帯数 / 58,688世帯(-108)
(平成25年4月1日現在)

1位 晴れの日

国分城山公園
国分上小川3819 ☎46-1561



遊具や児童広場、木かげもいっぱい。園内の「キッズルームCafé」(土日のみ営業)にはキッズスペースがあり、ミルク用のお湯も提供してくれます。

1位 雨の日

キッズパークきりしま
国分中央3-9-20国分パークプラザ2階 ☎46-6886

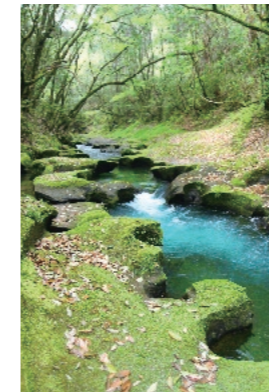


子どもが喜ぶ手作りおもちゃ、遊びスペースも広く、子どもに目が届くので安心です。(子育てサロン、ふれあい広場あり)



今月号から身近な子育て情報を掲載します。今回は晴れた日、雨の日のお出かけ先を国分福島地区の子育てサロンのお母さん方に聞いてみました。

今月の表紙



久留味川のせせらぎ(単人町) 4月16日 午後1時8分

国の天然記念物に指定された「天降川流域の火砕流堆積物」(P10参照)。文化振興課にお薦めの撮影スポットを聞き向かう。長靴をはき、草むら、林の中を歩く。はしごを下ると絶景が目飛び込んできた。緑の木々に覆われたそこは異空間。鮮やかな黄緑色のこけ、その上に積もる落ち葉も風情がある。さまざまな形の罅穴は国指定となった由縁の一つ。清流のせせらぎの中、大自然に感動した(う)

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ17~55mm
F2.8 1/50 F5.0 ISO400

今月号からこのコーナーに寄稿させていただけることになりました。本誌をご愛読いただいております皆さま同様、私もこのコーナーを楽しみにしてまいりましたが、改めて見てみますと諸先輩の話は某落語番組の自己紹介のようで面白い。まさに本誌の「焦点」ですな(か)

高校の卒業式と同時に髪を染めた息子。思いのほか髪の色が赤かったらしく、私に「美容室の人が赤くしてしまって…」とおどおどしたメールが届いた。その息子も大学生。アルバイトをするという彼が言った。「あの店は髪を黒くしないとイケないから行かない」なに(た)

さなみさんのテープを聴きました。目を閉じて聴きました。私たちが悩みながら書いた文章が声によって耳に届いたとき、不思議な感動がありました。落ち着いた柔らかな声の裏にある地道な努力。この声を必要としている人がいます。いつも本当にありがとうございます(う)

皆さんのおかげで、25年度全国広報コンクールで入選することができました。これからも必要とされる広報誌を目指して頑張ります。今回からクーポン券と絵はがきを広報誌に付けました。お得な情報や自慢のふるさとの風景が掲載されていますので、ぜひご利用ください(み)

市長コラム 前田終止

アイス1個で2万歩！
市内の地区自治公民館単位での健康づくりを支援する「健康生きがいづくり推進モデル事業」を始めて4年。市内89地区自治公民館のうち、現在まで70地区で実施され、今年度は全地区での実施を目指しています。各地区、工夫を凝らし、特徴ある取り組みをされ、私も参加する機会がありますが、この事業への喜びや感謝の言葉をいただきます。この取り組みを継続的に実施していただけるように地区ごとにウォーキングコースを設定し「きりしまさるくロード」という地図を配布。これには「アイスクリム1個のカロリーは2万歩に相当する」といったシヨックな情報も掲載。私も心機一転。朝6時から約1時間、ふるさとの里道を歩き始めて約3か月。通学途中の子どもたちと元氣よくあいさつを交わし、寝ている野鳥たちを起し、ながら歩き、冷気ですら心地よく、気分爽快に一日が始まります。脂肪は減り、やる気と元氣は増します。ふるさとの再発見と体と心の健康のために継続的な運動を心掛けたいものです。